

令和2年2月27日
国家公務員倫理審査会

公務員倫理に関するアンケート結果（令和元年度）

国家公務員倫理審査会は、国家公務員の倫理保持施策の参考とするため、国民（市民）及び一般職の国家公務員（職員）に対して、「公務員倫理に関するアンケート」を実施しました。アンケート結果の概要は、次のとおりです。

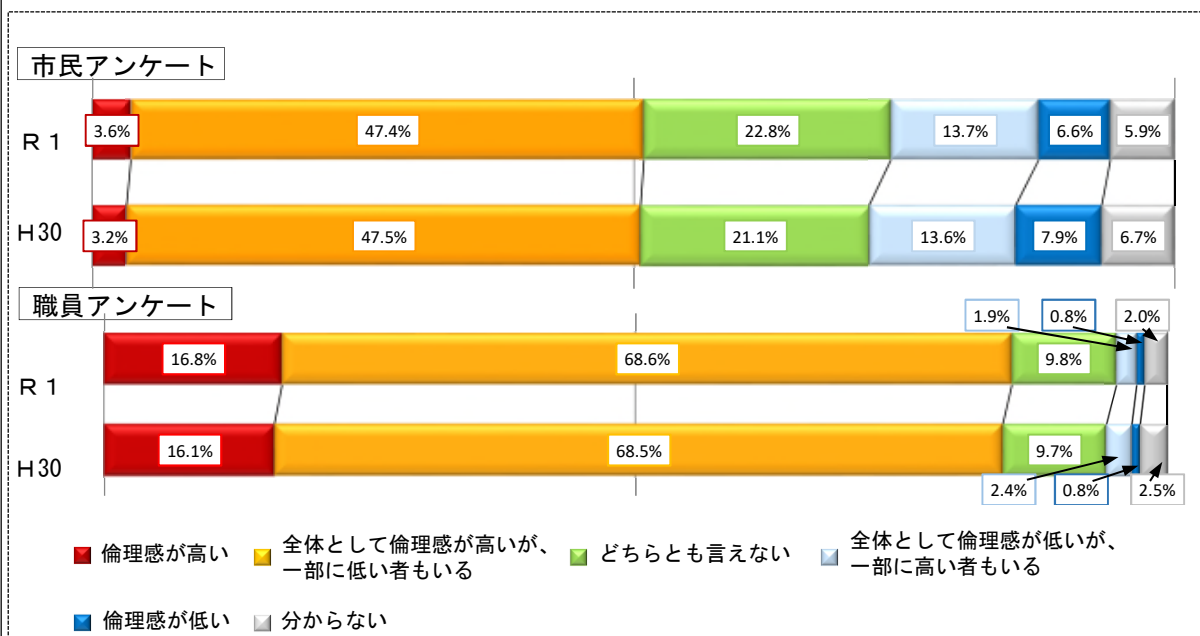
アンケート結果の概要

1. 国家公務員の倫理感についての印象

- 国家公務員の倫理感に対する印象について、肯定的な回答の割合（注1）は、
 - ・市民アンケート 51.0%（平成30年度 50.7%）
 - ・職員アンケート 85.4%（平成30年度 84.5%）
 であった。一方、否定的な回答の割合（注2）は
 - ・市民アンケート 20.3%（平成30年度 21.5%）
 - ・職員アンケート 2.8%（平成30年度 3.3%）
 であった。

（注1）「倫理感が高い」又は「全体として倫理感が高いが、一部に低い者もいる」と回答した割合。
なお、端数処理の関係で、単純に合算した数値と異なる場合がある。以下同じ。

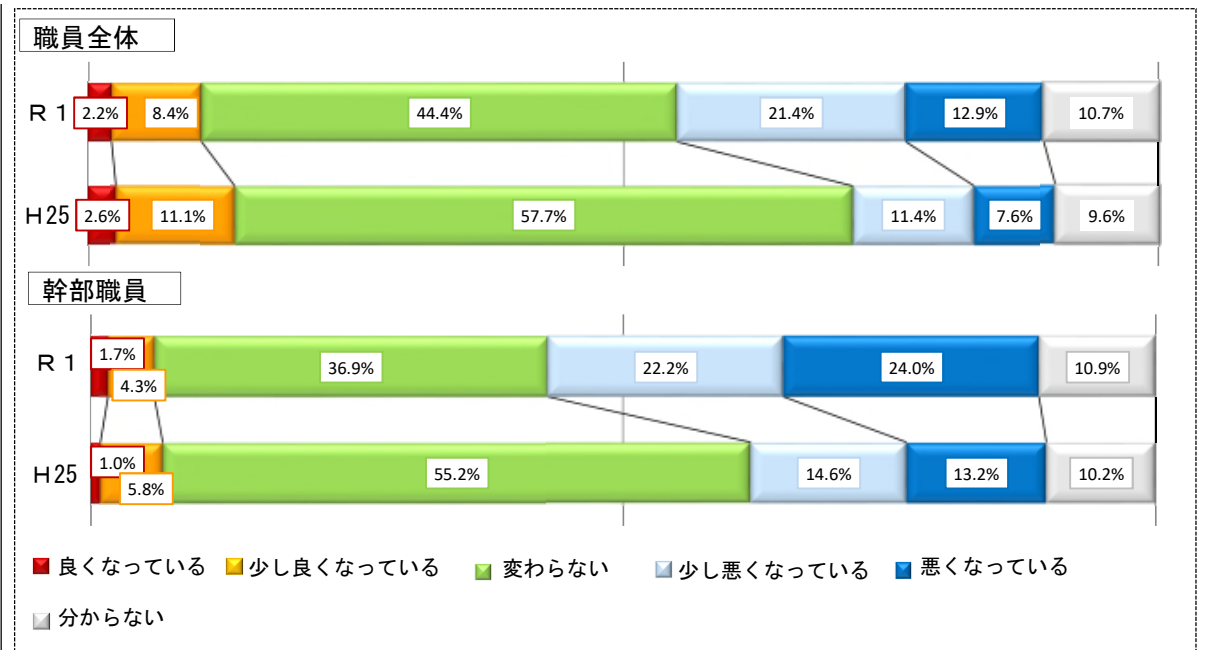
（注2）「全体として倫理感が低いが、一部に高い者もいる」又は「倫理感が低い」と回答した割合。



- 近年の国家公務員（職員全体又は幹部職員）の職務に係る倫理の保持の状況について、それぞれ肯定的な回答の割合（注3）は、
 - ・職員全体 10.6%（前回実施した平成25年度 13.7%）
 - ・幹部職員 6.0%（同平成25年度 6.8%）
 であった。一方、否定的な回答の割合（注4）は
 - ・職員全体 34.3%（同平成25年度 19.0%）
 - ・幹部職員 46.2%（同平成25年度 27.8%）
 であった。

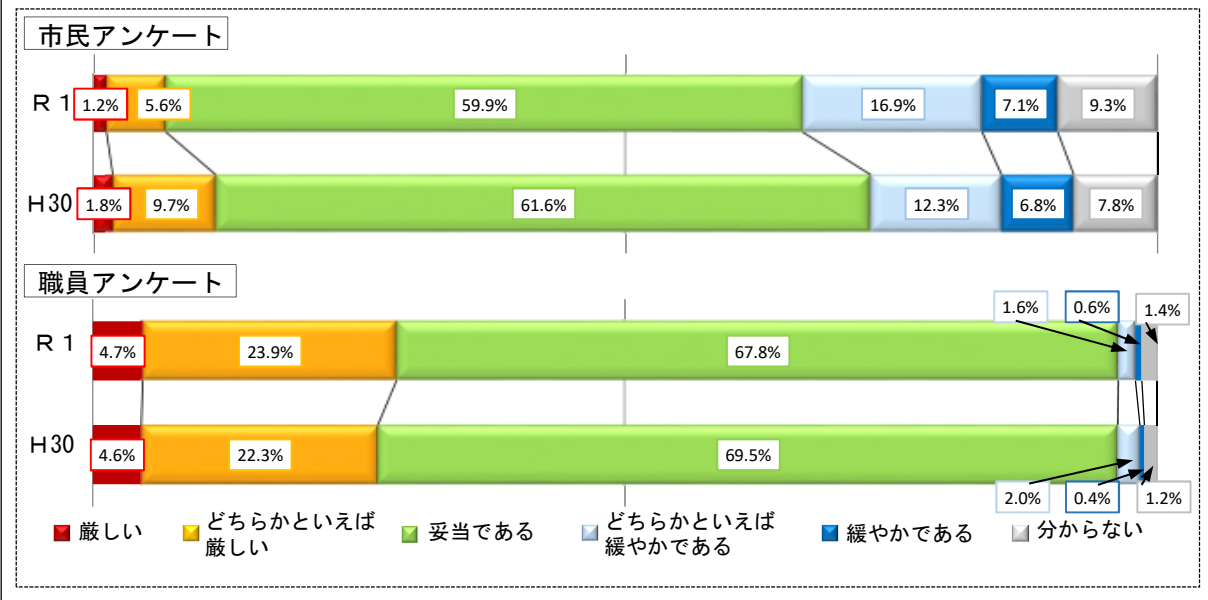
（注3）「良くなっている」又は「少し良くなっている」と回答した割合。

（注4）「少し悪くなっている」又は「悪くなっている」と回答した割合。



2. 倫理規程の行為規制の内容は妥当との回答がいずれのアンケートでも多数

- 倫理規程で定められている行為規制の内容について「妥当である」との回答の割合は、
- ・ 市民アンケート 59.9% (平成30年度 61.6%)
 - ・ 職員アンケート 67.8% (平成30年度 69.5%)
- であった。



アンケートの概要

市民アンケート

調査対象：委託したアンケート調査会社に登録されている国民 1,000人

調査時期：令和元年10月

調査手法：WEB調査

回答状況：回答者数 1,000人 (平成29年度 1,000人)

※ 回答者数が1,000人になるよう設定

職員アンケート

調査対象：一般職の国家公務員 5,000人

調査時期：令和元年6月～7月

調査手法：郵送調査

回答状況：回答者数 4,172人（平成30年度 4,149人）

回答率 83.4%（同 83.0%）

問 合 せ 先	国家公務員倫理審査会事務局 首席参事官 岸本 康雄 倫理企画官 松浦 正樹 電話 03-3581-5311(内線2813) 電話 03-3581-7031(直通)
------------------	--